

Cat No. 36535-96

## 取 扱 説 明 書

電気泳動用迅速 CBB 染色キット

## Rapid CBB KANTO (ラピッド CBB KANTO)

## 1. はじめに

電気泳動後のタンパク質の染色には Coomassie Brilliant Blue R-250 (CBB R-250)染色法が広く用いられています。しかし、この染色方法は脱色に非常に時間がかかるという欠点があります。本品は CBB 染色法の欠点を克服し、泳動後のタンパク質を短時間に検出できるよう開発されたポリアクリルアミドスラブゲル電気泳動用染色キットです。

## 2. 特長

- 1) 電気泳動後、約 50 分間で染色および脱色操作が完了します。
- 2) 30ng 程度のタンパク質の検出が可能です。
- 3) A 液と B 液を等量混合するだけで染色液が調製できます。

## 3. 製品内容

製品名	ラピッド CBB KANTO (Rapid CBB KANTO)
製品番号	36535-96
包装	A 液 500ml B 液 500ml
保管温度	室温

## 4. 試薬の調製

## A. 試薬の調製法

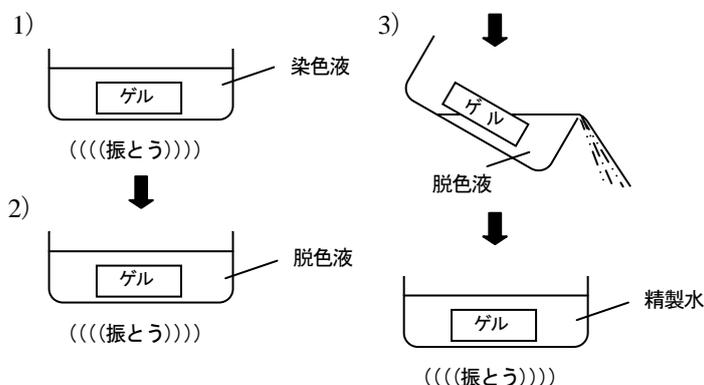
下記の調製液量は 70×80×1mm ポリアクリルアミドスラブゲルの染色に使用する標準液量です。ゲルの体積に応じて液量を調整して下さい。

- 1) 染色液の調製 (調製液量 50ml)  
A 液 25ml と B 液 25ml を混合します。
- 2) 脱色液の調製 (調製液量 100ml)  
精製水(脱イオン水または蒸留水)75ml に酢酸 10ml、メタノール 15ml を加え混和します。

## B. 調製上の注意

- 1) 調製液量はゲルの大きさ、厚さおよび使用する容器の大きさにより異なりますが、ゲル体積の 5～10 倍量が目安です。ゲルが完全に溶液中に浸ることを確認して下さい。
- 2) 染色液は用時調製して下さい。
- 3) メタノール、酢酸は特級以上のものを使用し、水は脱イオン水または蒸留水を使用して下さい。

## 5. 操作方法



- 1) 染色液を容器に入れ、これに泳動後のゲルを浸し、10 分間振とうします。
- 2) 別の容器に脱色液を入れ、これに染色したゲルを浸し、20 分間振とうします。
- 3) 脱色液を捨て水を注ぎます。水にゲルを浸し、20 分以上振とうします。

## 6. 操作上の注意

- 1) 染色、脱色に使用する容器は、表面が平滑でよく洗浄されたものをお使い下さい。
- 2) 全操作中、ビニール手袋を着用して下さい。また、ゲルの破損には十分注意して下さい。
- 3) 染色に使用した容器をそのまま脱色に使う際には、容器およびゲルに付着している染色液を水で軽く洗い流して下さい。
- 4) アクリルアミド濃度が高いと染まりが弱くなる傾向があります。アクリルアミド濃度が 12.5%より高濃度の場合は染色時間を 5～10 分程度延長して下さい。
- 5) B 液はメタノール溶液となっておりますので火気に十分ご注意下さい。

## 7. 廃液処理

染色液は CBB R-250、酢酸、メタノール等を含みます。専用容器に集めて処理して下さい。